

管理 施工 建築
定 検 技 術

2級学科14人が合格

津工業高校 県立会津工業高校
県建協が交通費支援

昨年11月に実施された2級建築施工管理技術検定の学科試験で、県立会津工業高校建築インテリア科の3年生14人が見事に合格を果たした。建築技術者への登竜門と言えるもので、生徒たちは3年間の努力が実り喜びにあふれている。また今回初めて、県建設業協会が受験をサポートし、試験地の新潟会場までバス借上げなど交通費を補助した。二瓶益幸校長は「県建設業協会はじめ家族など周囲の支えがあって合格することができた。生



徒たちには感謝の気持ちを持ってほしい」と話している。同資格は、建設業法に基づき国家試験で、高度で専門的な知識が必要とされる。高校生には難関だが、生徒たちは3年間の学習成果を結実させようと、放課後や休日を利用して知識の習得に努めた。39人が受験し14人が合格、合格率は35.9%で昨年に続いて合格者

数を2ヶ台に乗せた。生徒たちは今後3年間の実務経験を経て、実地試験を受験し2級建築施工管理技士を目指すことになる。県建設業協会は今年度、県内の土木・建築系高校の生徒たちに資格取得の意欲を高めてもらうこと、「若年者資格取得人材確保育成事業」を創設。支援事業の一環として試験会場までの交通費を全額補助した。

試験会場は県外のため、貸切バスや公共交通機関、家族の送迎など交通手段の確保は、生徒と学校側にとっても大きな負担となっていた。一昨年、郡山市で開いた建設系高校との意見交換会で、出た学校側からの要請を宗像果恋

を受けて支援を決めた。バスの借上げから高速料金、待機中の駐車料金まで交通費の全額を補助するもので、今年度は約170万円を予算化し、同校はじめ県内8高校が支援を受けた。同校地域連携推進部の菅家慶広教諭は「生徒たちの資格取得に対する意欲が向上した。これから多くの合格者を目指して取り組んでいきたい」と協会の支援継続に期待を寄せている。合格者は次の通り。

- 穴沢友弥、飯島大智、金田拓実、坂本豊、広田亜依、渡部尚樹、安部俊希、石山直輝、伊藤龍皇、小野里大輔、小山翔、高橋ありさ、巳ノ瀬健太、

2級検定5人が合格

喜多方桐桜高校建設科^{1級への登竜門}

県立喜多方桐桜高校建設科の3年生5人が、26年10月に行われた2級土



木施工管理技術検定試験に合格した。1級取得への登竜門で、5人の合格者が出たのは同科では初。

合格したのは土木コースの大竹友幸さん、菊地美紗さん、栗村匠さん、松崎学さんと、建築コースの大関綾さん。大関

さんは地元市役所に就職が内定し、4人は県内外の建設企業に内定している。

指導していた同科の渡部鉄仁教諭は「生徒が自覚し、県土や東北の復興にかかわりたい気持ちが強かったように感じる。本当にうれしい。後輩への良いお手本になった」と話している。

同科では卒業予定者全員の進路が内定。7割が会津若松、喜多方などの地元企業や公務員を選んだ。進学希望の生徒もいる。